

皮膚科学の進歩に寄与する研究報告書

「素肌美・トラブル改善・美容」に不可欠なスキンケア効果は「保湿」

「素肌美・トラブル改善・美容」に不可欠なスキンケア効果は、「バリア機能の向上による角質水分保持機能の向上」の「保湿」です。それを実現するためには、「リノール酸を含む合成界面活性剤不使用のエマルジョン化粧品」が最も効果的です。この皮膚・皮膚バリアの科学的な事実「科学的保湿は一般常識の保湿と違う」を、多くの方は知りません。

多くの人は化粧水や乳液、クリームなどの「水分を与えて油分でフタをする」スキンケアで、「保湿」を実現しようとします。しかし、美しい素肌を保ち、トラブルのない肌に戻す、化粧映えやスキンケア映えする肌を得るためには、バリア機能を強化し、その結果として、角質水分保持(保湿)することが重要です。角質水分保持が、本来の「保湿」です。

リノール酸を含む合成界面活性剤不使用のエマルジョン化粧品は、皮膚バリアを修復・強化し、外部からの刺激や有害物質の侵入を防ぎます。また、内部からの水分の蒸発を抑えます。その結果として、角質水分保持(保湿)効果を高めます。

このように、リノール酸含有の合成界面活性剤不使用のエマルジョン化粧品1本で、最も重要なスキンケア効果である「バリア機能の向上により、角質水分保持力」を得ることができるため、「海森水1本でスキンケアは十分」です。皮膚科学・皮膚バリア科学の観点から見ても、この主張は事実です。皮膚の角質層のバリア機能と細胞間脂質のラメラ構造、アシルセラミドとリノール酸の役割を理解するなど、皮膚科学・皮膚バリア科学に基づいて正しく「保湿」スキンケアすることが重要です。

1. 細胞間脂質のラメラ構造:
角質細胞間に存在する脂質が層状に並んでいる構造のことです。この構造は、水分と脂質の層が交互に重なり合うことで形成されます。具体的には、セラミド、コレステロール、脂肪酸などの脂質が規則正しく並び、皮膚のバリア機能を支えています。このラメラ構造は、皮膚の保護と角質保水(保湿)において非常に重要であり、乾燥や炎症を防ぎます。さらに紫外線や大気汚染によって発生する活性酸素から肌を守る役割を果たします。また、ラメラ構造が健全に保たれることで、皮膚の柔軟性や弾力性も維持されます。
2. 保護(バリア)機能とアシルセラミド:
アシルセラミドは、皮膚の保護機能において非常に重要な役割を果たします。具体的には、アシルセラミドは皮膚の角質層に存在し、細胞間脂質の一部としてバリア機能を支えています。このバリア機能は、外部からの病原体や有害物質の侵入を防ぎ、体内の水分の蒸発を防ぐ役割を果たし、角質水分保持(保湿)の役割を果たしています。
アシルセラミドが欠乏すると、皮膚のバリア機能が低下し、角化異常現象や炎症性皮膚疾患などの皮膚トラブルが発生しやすくなります。また、アシルセラミドは他のセラミドと比べて特にバリア機能に特化しており、その構造が皮膚の保護と保水(保湿)に最適化されています。このように、アシルセラミドは皮膚の健康と美を維持するために欠かせない成分です。
3. アシルセラミドとリノール酸:
リノール酸は必須脂肪酸であり、このリノール酸が細胞間脂質主成分セラミドとエステル結合することでアシルセラミドが形成され、皮膚のバリア機能を強化する役割を果たします。また、合成界面活性剤を使用しないことで、皮膚のバリア機能を損なうことなく、保護・保水効果を高めることができます。